

2024年12月12日

各位

会社名 株式会社クエスト  
代表者名 代表取締役 会長兼社長執行役員 清澤 一郎  
(コード番号:2332 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 上席執行役員 小泉 裕  
(電話番号:050-3785-3965)

## 資本コストと株価を意識した経営に対する取り組み状況 および 株主・投資家との対話状況について

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について以下の通りお知らせしております。

- 2023年12月20日 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について(現状分析)
- 2024年6月24日 中期経営計画(2024~2026年度)の策定に関するお知らせ

取締役会において議論を重ねた内容を踏まえ、資本コストと株価を意識した経営に対する取り組みの進捗状況と株主・投資家との対話状況について下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### I「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

##### 1. 現状分析 (2023年12月に開示済)

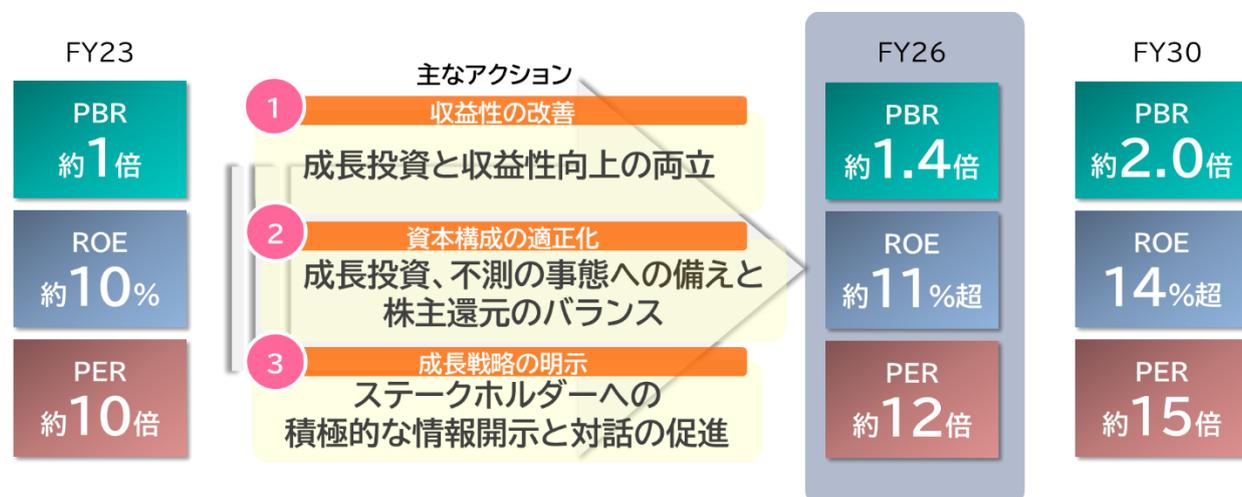
当社は、ROEを主要経営指標の一つとしており、利益水準を高めながら、成長に対する投資や積極的な株主還元を行うことでROEを向上させていくことを基本的な考え方としております。

当社のROEは直近5年平均では概ね10%超となっており、当社が株主資本コストとして算出する9%を上回る水準になっており、PERについても概ね10倍強で推移しています。

一方、情報通信産業の他社と比べてこれらは決して高いと言える水準ではなく、収益性をさらに高めていくことと株式市場の信頼を得られる成長を示すことが今後の企業価値向上において必須であると当社は考えています。

##### 2. 対応方針 (2024年6月に開示済)

現状分析を踏まえ、PBR、ROE、PERに対しての中期的な目標値を設定しております。



<b>収益性の改善</b>
<p>短期的な利益にのみとられることなく、持続的な成長に向けた人や技術への投資と収益性の向上を両立します。</p> <p>具体的には、付加価値の高いソリューションサービスを拡大するために、2024～2026年度においては中期経営計画で重点領域と定めるエンジニアリング DX 領域(PLM 等)、データ関連ビジネス領域、セキュリティサービス等に対して投資を集中するとともに、働きがいにあふれる職場実現に向けた人的資本投資や社内基盤の強化を引き続き実行していきます。</p>
<b>資本構成の適正化</b>
<p>当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識し、業績向上に邁進し、業績に応じた利益還元と将来への成長投資、不測の事態への備えとのバランスを考慮しながら、配当水準を高めることを基本方針としております。</p> <p>資産の適正化に向けた取り組みとしては、投資有価証券等の処分やキャッシュアロケーション方針の策定を行っており、将来の成長に向けた運転資金の確保、M&amp;A やアライアンスを含む事業成長への投資に対して、2024～2026年度の3か年において約15～25億円の分配を計画しています。</p>
<b>成長戦略の明示</b>
<p>当社は適時・適切な情報開示に加えて、積極的かつ継続的な情報発信や株主・投資家との建設的な対話が企業価値向上において重要な点であると考えております。</p> <p>従来、開示が不十分であった中長期・中期の経営計画について、2024年6月に公表を行いました。またホームページのリニューアルやプレスリリースの発信強化にも着手しております。</p> <p>今後、株主・投資家をはじめステークホルダーにとって有用と考えられる情報についてはさらに積極的な開示を行ってまいります。</p>

「収益性の改善」、「資本構成の適正化」、「成長戦略の明示」の3本の柱を主なアクションとして、企業価値向上に向けて引き続き取り組んでいきます。

## II「株主・投資家との対話の実施状況」について

2024年3月以降、11月末日時点における株主・投資家との対話に関する取り組み状況は以下の通りです。

### 1. 実施内容

- ・ 株主総会の開催
- ・ 株主総会における事前質問の受付および Q&A の公表
- ・ 株主通信の発行
- ・ 証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会の開催（2024年5月、2024年11月）
- ・ 決算説明会の書き起こし記事の掲載
- ・ 機関投資家との面談実施
- ・ ホームページのリニューアル等によるコンテンツの段階的な拡充

### 2. 株主・投資家の主なご関心事項・ご質問内容

- ・ 主要顧客の動向による当社への業績影響
- ・ 季節性による偏重の有無や状況
- ・ 人材の獲得状況(新卒採用および中途採用)
- ・ ソリューションサービスに対するマーケットのニーズについて
- ・ キャッシュアロケーションの成長投資の考え方
- ・ ヘルスケア・メディカル領域への参入に対する進展や手応え
- ・ 自社株式の取得に対する考え方
- ・ 経営陣の高齢化と次世代の経営者育成について
- ・ 企業価値目標 250 億円超に対する今後の取り組み方針

### 3. 経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況

株主・投資家の皆様からいただいたご質問やご意見については、IR 担当役員より取締役会へ報告を実施しております。

事業に深く関連する内容については、各種面談実施前後に IR 専任者より事業部門の責任者等に確認・共有を行っております。

### 4. 株主・投資家との対話を踏まえて取り入れた事項 ※過年度の対話を含む

- ・ 決算説明会資料の書き起こし記事の掲載
- ・ 決算説明会資料の東証開示
- ・ 株主総会における事前質問の受付および Q&A の公表
- ・ わかりづらいとご指摘をいただいた IR 資料内容の表現変更
- ・ 顧客産業別ポートフォリオ(実績および中期経営計画におけるターゲット目標値)の公開

今後も株主・投資家の皆様との建設的な対話を促進し、適時適切な情報開示や積極的かつ継続的な情報発信に努め、企業価値の向上に引き続き取り組んでまいります。

以上